

コミュニティ

富士通グループでは、様々な組織や団体と協働しながら地域社会の発展につながる社会貢献を推進しています。事業活動との相乗効果を重視してイノベーションを通じた信頼と持続的価値を世界中の人々に提供していくとともに、社会への貢献を通じて、社員自らのスキル開発や富士通グループで働くことへの誇りを向上させていきます。

詳細についてはこちらをご参照ください。

<https://www.fujitsu.com/jp/about/csr/community/policy>

目標

ありたい姿

- 地球社会への帰属意識を有する社員が、社会課題への共感性を高めて活動を共創することで、社会のみならず経済・ビジネスに良いインパクトをもたらしている。
- 創出したインパクトを評価、分析、発信し、さらなる価値を社会に提供している。

2022年度目標

企業文化および社員のマインドセット変革への貢献

KPI 社会課題に関連した社会貢献活動に参加した富士通グループ社員数の増加率
ニューノーマル下において、2019年度比+10%

活動の方針

富士通グループは、重要なステークホルダーの1つである地域社会と協力しながら、特色ある活動を世界各地で展開してきました。今後は、新たに定めたFujitsu Wayの根幹をなすパーパスの実現に向け、各地域の活動をより一体的に推進し、地域社会との信頼をグローバルなものに高めていきます。そして、社会が抱える課題の解決のために、当社グループの企業活動の強みを最大限に発揮できる分野を中心に、より大きな価値創造を進めていきます。

推進体制

サステナビリティ推進本部が事務局となり、海外の各地域担当者と共に活動の大枠や目標の検討・最終化を行っています。具体的な活動推進については、各地域の社会背景や社内事情が異なることから地域ごとに展開し、その状況を定期的な会合で共有しています。また、各地域の活動をデータ化して全地域で閲覧できる仕組みを構築し、課題や好事例を共有しています。

日本での取り組み

スポーツを通じた地域貢献

地域社会貢献活動の一環として、富士通グループでは地域住民の方々や社員とその家族向けに様々なイベントを行っています。その中でも、「健康増進」「子供たちの運動能力向上」を目的とした富士通所属選手によるスポーツ体験会も実施しています。近年では、東京2020大会の機運醸成に向けた富士通所属のオリンピックとの交流のほか、各地域で活躍するパラアスリートを招いたパラスポーツ体験会を行い、障がいそのものへの理解促進に加えて障がい者スポーツの普及とすそ野拡大、理解促進を目指しています。



車いすバスケットボール体験会

海外での取り組み

ニューロダイバーシティ支援

イギリスでは、NGOであるAutisticaとAlan Turing Instituteと共に、自閉症の方々とその家族が長く健康で幸せな生活を送れるよう支援するプロボノプロジェクトを実施しています。より多くの情報収集に向けて、市民サイエンティストも参加できるプラットフォームをつくり、自閉症の方々が直面する公的・私的空間での障壁を改善していきます。

Wabi Sabi プロジェクト

グローバルデリバリー部門のポーランド拠点では、社員の子供たちを中心にボランティアチームを結成し、地域社会に向けて、コンピュータの構成理解、インターネット安全教室、そろばん、社会課題の解決検討、ハッカソンなどの様々な活動を行っています。

先住民の知識と文化の保護

アボリジニとトレス諸島先住民の知識と文化の保護・継承に向けて文化財のデジタル保存を実施しているBawurra Foundationに対し、オーストラリアではスキャナー(ScanSnap)とクラウドでのホスティングサービスを提供しました。この活動を通じて、先住民の文化的価値観や風習、哲学の継承を支援していきます。



Bawurra Foundationの活動の様子

外部団体との協業

富士通グループでは、サステナビリティの世界的潮流の把握や先進事例の習得、グローバル企業間の交流機会促進に向けて、積極的に外部団体との関わりを活用しています。

WBCSD*1

富士通グループは、2013年よりWBCSDの複数テーマで活動を続け、2018年からは理事および副会長企業に就任しています。2019年は、ピープル・都市とモビリティ・Vision 2050の活動に参加し、多業種の参加企業と共に多様な社会課題の解決への議論を進めてきました。また、日本の会員企業向けの活動として、WBCSDのCEOであるピーター・バツ

カー氏の来日に合わせて、2019年11月にCEOラウンドテーブルを開催しました。

WEF*2

2010年代より産業パートナーとして参画し、年次総会や各種分科会への社長を含む上層役員の出席、各種分科会などへの参加を継続しています。2020年1月の年次総会には社長・副社長が出席し、産業別会合に参加するとともに、ボードメンバーに就任しました。

*1 The World Business Council for Sustainable Development (持続可能な開発のための世界経済人会議)。ビジネスを通じた持続可能な社会の実現を目的に設立され、世界の約200社が加盟。

*2 World Economic Forum (世界経済フォーラム)。官民連携を通じて世界情勢改善を目指す国際機関。世界の約1,200社が加盟。

COVID-19への対応

COVID-19の感染拡大を受け、富士通グループでは2020年5月から全社員に対して、COVID-19対策を含めた富士通が社会の安定に貢献できること・取り組みたいことのアイデア募集を行っています。9月までに、感染拡大防止、医療サービスの拡充、社会・経済への取り組みなど、様々な視点から100件を超えるソリューション事例やアイデアが世界各地から寄せられました。集まった提案の中には、すでにソリュー

ションとして活用されているものに加え、今後アイデアを具現化して将来的に世の中に届けていくものもあります。富士通グループは、この活動の継続を通じて、社員の中長期的な視点での社会課題への意識を高めていきます。

COVID-19への富士通グループの主な対応については、**P8-9**をご参照ください。